

【富岡町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本町では、国の目指す「個別最適な学び」、「協同的な学び」の一体的な学びを重点項目として位置づけ、学習場面に応じたICTの活用を通じて、新たな学びを推進し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。

GIGA第1期の総括

文部科学省が掲げるGIGAスクール構想に基づき、本町では令和2年度からICT環境の整備を進め、児童生徒数の増加にあわせて一人一台の端末を整備するだけでなく、学校におけるネットワーク環境整備、ICT支援員の配置など、ICT教育の充実化を図った。また、これらのICT環境を有効に活用し授業改善に取り組み、遠隔授業、分散授業等の選択肢も増やし、学びの保証を実現化してきた。

ICTの活用が着実に進んでいる一方で文部科学省が実施する「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」の結果等にあるように、ICTの効果的な活用の再検証、そしてICTを活用した指導力の更なる向上を図っていく必要がある。

1人1台端末の利活用方策

上記を踏まえ、本町では児童生徒の学びを途切れさせず、「個別最適な学び」及び「協同的な学び」を維持するため、1人1台端末整備を継続し、下記取組みを実施する。

(1)1人1台端末の積極的活用

- ・1人1台端末を有効活用した授業の推進
- ・デジタル教材や教育用アプリの活用促進

- ・児童生徒の情報活用能力の育成

(2)個別最適・協働的な学びの充実

- ・授業支援アプリやデジタル教材の有効活用

- ・教員の ICT 活用指導力向上のための研修の充実(高度化と個別化)

(3)全ての児童生徒の学びの保障

- ・合理的配慮を要する児童生徒等への支援や特性に応じた教材などの活用

- ・ICT 支援員配置による ICT 教育に必要な環境支援